

# 佐和山城跡

一個人住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査事業—



平成21年3月

彦根市教育委員会

## 目 次

### 例言

I はじめに	1
II 位置と環境	1
III 発掘調査の成果	3
1 基本土層	3
2 検出遺構	3
3 出土遺物	5
IV おわりに	5

### 写真図版

### 平成20年度 彦根市発掘調査一覧

### 例 言

1. 本書は、彦根市教育委員会が平成20年度の国庫補助事業として実施した佐和山城跡の個人住宅建設に伴う事前発掘調査の成果を収めたものである。
2. 本調査の調査地は、彦根市佐和山町82に位置する。
3. 本調査は、平成20年6月16日～6月19日まで現地調査を実施し、以後、資料整理を行った。
4. 本調査は、彦根市教育委員会文化財部文化財課が実施した。平成20年度の調査の体制は下記のとおりである。

文化財部長：西川太平	文化財部次長：寺崎 煉
課 長：谷口 蠟	課長補佐（兼史跡整備係長）：久保達彦
文化財係長：広瀬清隆	主 査：志賀昌貢
副 主 査：北川恭子	主 任：池田隼人
主 任：高木繪美	主 任：林 昭男
技 師：大岡由記子	技 師：三尾次郎
5. 本調査には以下の諸氏が參加した。  
吉原正興・清水啓邦・浜野聰・田中喜代子
6. 本書は林が執筆した。
7. 本書で使用した方位は、平面直角座標第IV系の真北に、高さは東京湾平均海面に基づいている。
8. 本調査で出土した遺物や写真・図面等は彦根市教育委員会で保管している。

## I はじめに

本書は、個人住宅建設工事に伴って実施した佐和山城跡（彦根市佐和山町82所在）の発掘調査の成果をまとめたものである。調査は、平成20年6月12日に試掘調査を実施したところ遺構が検出されたため、同年6月16日から6月19日まで現地で発掘調査を実施し、その後、整理調査を行い本報告書の刊行となった。

調査にあたっては、土地所有者を始めとする関係者にご理解とご協力を賜った。厚くお礼を申し上げたい。

## II 位置と環境

### 〔地理的環境〕

佐和山城跡は彦根市佐和山町・鳥居本町・古沢町にまたがって所在する中世の城館遺跡である。城跡の所在する佐和山は標高232.9mを呈し、東の鈴鹿山脈と西の琵琶湖との間に開けた湖東平野の北部にあたる彦根市の北東部、彦根城から約2km東にそびえている。北に入江内湖（筑摩江）、西に松原内湖が広がり、東の鈴鹿山脈との間の狭小な地帯を南北に東山道が走り、陸路の上でも、湖上交通の上でも非常に重要な位置に存在している。なお、この周辺の彦根山・礪山・大堀山は、秩父古成層から形成される。

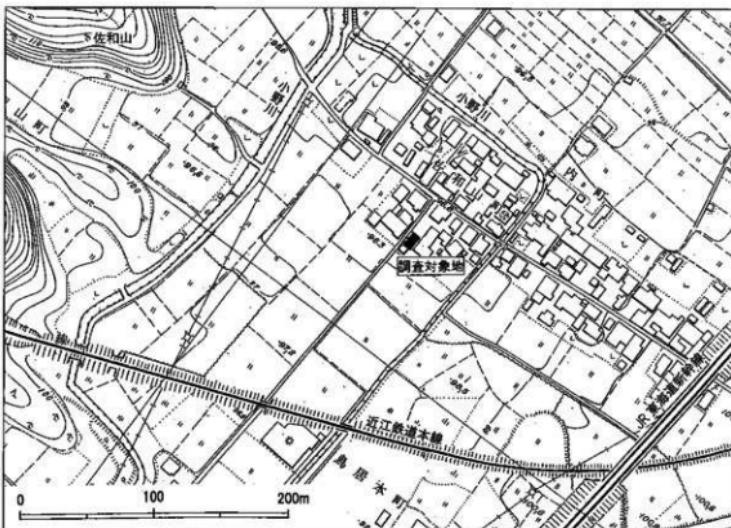


図1 調査区位置図

### 〔歴史的環境〕

佐和山城跡周辺は犬上郡と坂田郡の境目、いいかえれば江南と江北の境目にあたり、また眼下には古代東山道とそれをほぼ踏襲した中世東海道、近世中山道が通過している。いずれも各時代における日本列島の東西を結ぶ大動脈であり、北東の鳥居本町（旧鳥居本村・百々村・旧西法寺村・上矢倉村）には近世の鳥居本宿があり重要な中継点となっていた。また、北に入江内湖（筑摩江）、西に松原内湖が広がっており、湖上交通の上においても要衝の地であった。

周辺に位置する遺跡を概観すると、縄文時代では、磯山城遺跡で縄文時代早期中葉～晚期の遺物が出土し、早期の人骨が2体確認されている。入江内湖遺跡では、縄文時代早期後葉～後期初頭の遺物とともに、漆塗り容器や丸木舟、釣針などが出土している。筑摩佃遺跡では、縄文時代中期前葉・中葉の遺物が出土し、流路からはトチノキ・オニグルミ・イチイガシなどの堅果類が出土している。松原内湖遺跡では、縄文時代中期中葉～後期後葉・晚期後半の遺物が出土しており、後・晚期の土器に併い丸木舟が10数艘出土している。また、近年、六反田遺跡において、縄文時代中期末～後期前半の遺構・遺物が確認されている。

弥生時代では、入江内湖西野遺跡で、弥生時代前期～古墳時代後期の遺物が出土しており、流路内では弥生時代後期以降の護岸施設や堰の可能性がある杭列が検出されている。弥生時代中期・後期になると、筑摩佃遺跡や松原内湖遺跡などで遺物が出土しているものの、明確な遺構はほとんど確認されていない。

古墳時代では、前期末頃に荒神山山頂付近に大型の前方後円墳である荒神山古墳が築造される。その規模・立地などから、愛知郡・犬上郡を含む湖東平野北部を代表する首長墓と考えられる。同時期の佐和山周辺の集落遺跡は、この時期規模を拡大させる。入江内湖遺跡で古墳時代前期後半の木製品が大量に出土している。入江内湖西野遺跡では、掘立柱建物や土坑、溝などが検出されており、古墳時代後期～平安時代中期まで繰り返し構築されるシガラミ遺構も検出されている。

古代に入ると、それまでの積極的な活動や集落の存在などは見出しつくくなるが、堂谷遺跡で、7世紀後半に比定される鶴尾や軒丸瓦が出土しており、白鳳寺院や窯跡の可能性がある。また、六反田遺跡では、平安時代の集落が確認されており、その遺跡の立地、周辺遺跡との関係より、物資流通の「ターミナル」的な性格が想定されている。

中世に入ると、佐和山城が築城される。その築城時期は定かでないが、鎌倉時代初期に佐々木定綱の六男六郎時綱の代に、佐和山付近に館を構えたのが始まりと伝えられている。その後、六角と京極（浅井）の境目の城として幾多の攻防戦が繰り広げられた。元亀元年（1570）の姉川の合戦では、敗走した浅井勢の磯野員昌が籠城し、織田方と8ヶ月に亘る攻防を繰り広げた。その後、城は織田方の丹羽長秀・堀秀政と引き継がれ、秀吉の時代に堀尾吉晴・石田三成が城主となり、三成は十九万四千石を保持した。関ヶ原合戦後、井伊家が一時期佐和山城に入城するが、彦根城の築城に併い佐和山城は廃城となった。

### III 発掘調査の成果

#### 1 基本土層

調査地は、佐和山の東山麓の標高97m前後の集落内に位置する。集落の南側には田園が広がり、調査地もかつて田園であったと考えられる。

基本土層として6層の堆積を確認した。第1層が表土としての灰黄色粘質土、第2層が客土としての明黄褐色粘質土、第3～5層までは旧耕作土と考えられ、第3層が黄灰色粘質土、第4層が暗灰黄色粘質土、第5層が黄褐色粘質土である。この旧耕作土の下層に広がる第6層が遺構面としての明黄褐色粘質土である。現地表面から遺構面に達するまでの深さはおよそ65cmを測る。

#### 2 検出遺構

今回の調査は、個人住宅建設に伴うものであり、建設面積35m<sup>2</sup>を調査対象とした。65cm余の表土・客土・旧耕作土を除去し、第6層を追いかけて遺構の検出を行った。その結果、溝1条（SD 1）と土坑（SK 9）、多数の柱穴を検出した。柱穴の規模は様々であり、掘方を含めた直径は15～110cmを測るものであり、平面形も円形、楕円形、方形を呈する。柱材が残存しているもの（SP 3、SP 4、SP 11、SP 12）、礎石が残存しているもの（SP 2、SP 13）なども検出した。限られた調査面積ということもあり、掘立柱建物のプランを明確にすることはできなかったが、多數の柱穴が検出されたことより、複数の建て替えが行われたことが考えられる。以下に各遺構を詳述する。

##### 溝（SD 1）

調査区を貫くN-22°-Wの方向軸を持つ溝である。幅約75cm、深さ約14cmを測る。断面は楕状を呈し、埋土は褐灰色粘質土の1層である。他遺構との切り合い関係は、SP 2に切られ、SP 10を切っていることを確認した。

##### 柱穴（SP 2）

長径約110cm、短径約78cmを測る平面楕円形を呈し、深さは約28cmで断面楕状を呈す。遺構底部では礎石を検出し、土層断面で柱痕を確認した。礎石は、約35cm大の偏平な石を中心にその周辺に10cm大の小型の石が敷き詰められている。

##### 柱穴（SP 3）

直径約70cmを測り平面円形を呈す。深さは約80cmで断面は逆台形に近い楕状を呈す。埋土は青灰色粘土の1層だが、この埋土により保護されたのか、柱材が残存していた。柱

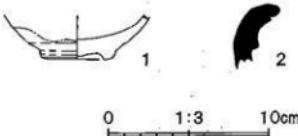


図2 出土遺物

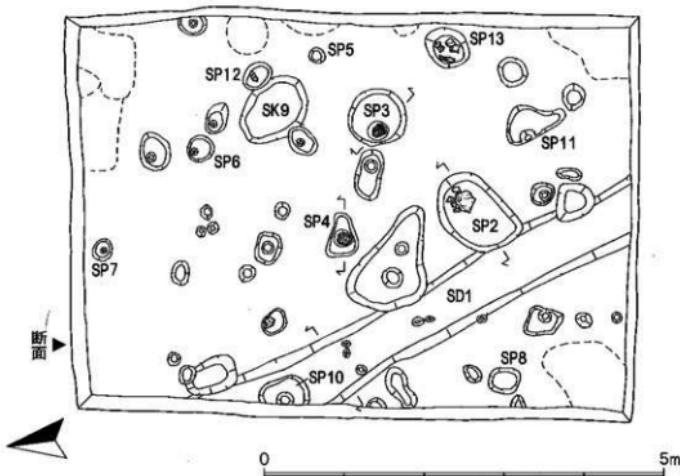


図3 遺構全図

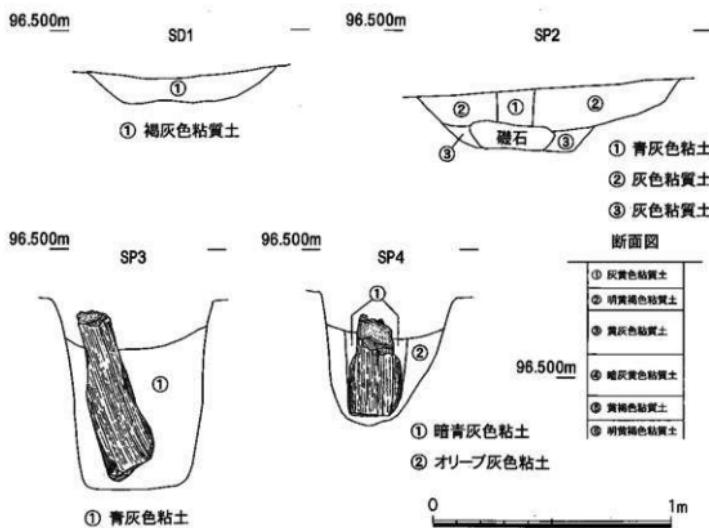


図4 遺構断面図

材は直径約20cm、長さ約65cmの丸太状で礎石はなかった。

#### 柱穴（SP 4）

長径約58cm、短径約38cmを測る平面梢円形を呈す。深さは約56cmで断面は逆台形に近い椀状を呈す。埋土はSP 3と同じく粘性の強い青灰色粘土の1層である。柱材が残存しており、直径約26cm、長さ約43cmの断面隅丸方形を呈している。表面には明瞭な加工痕が確認された。

### 3 出土遺物

今回出土した遺物は、遺構の主体が柱穴であったことから、ごく少量であった。5点が柱穴内（SP 3、SP 5～SP 8）から、1点が溝内（SD 1）から出土しているが、ほとんどが破片であり、図化できたのはわずかに2点のみであった。

1はSP 5より出土した施釉陶器の碗である。高台より内湾ぎみに立ち上がる体部を呈す。高台は削り出しでその周辺にはサビ軸を、体部にかけては内外面とも灰釉を施釉する。高台周辺のみの破片のため产地は不明であるが近世に入つてからのものである。2は、耕作土内からのものであるが、焼き締め陶器の壺である。

今回、出土遺物が少量でまた破片がほとんどであったため、明確な時代の判定までには至らなかつたが、概ね近世に入つてからのものと思われる。

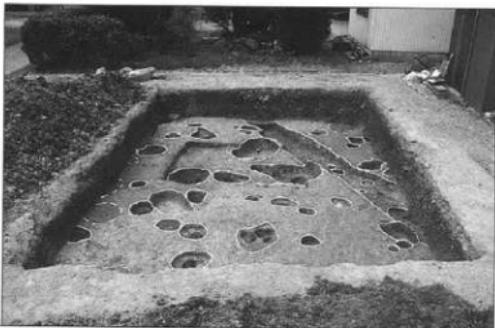
### IV おわりに

今回の調査地は、佐和山城絵図で本町筋町屋と記された周辺であり、城下町関連の遺構の検出が期待されたが、調査面積も限られており大きな成果を得るには至らなかつた。しかし、掘立柱建物を形成したであろう柱穴を多数検出し、その数と切り合い関係などより、複数回の建て替えを伴つたと思われる。残念ながら、明確に佐和山城段階まで遡る遺構は確認できなかつたが、少なくとも、佐和山城落城後、掘立柱建物の建て替えが行われており、現在の集落の前身となる開発の痕跡を明確にすことができた。佐和山城落城後の当地周辺を考える上で貴重な資料を得ることができた。

#### 〔主要参考文献〕

『新修彦根市史 第1巻 通史編 古代・中世』彦根市史編集委員会 2007

『佐和山城とその時代』彦根城博物館 1992



遺構完掘状況〔南から〕



S P 5 遺物出土状況



S P 2 完掘状況〔南から〕



## 平成20年度 彦根市発掘調査一覧

No.	遺跡名	所在地	種類	調査期間	調査面積(m)	調査原因	主な遺構	主な出土遺物	主な時代	調査の様	費用負担
1-1		古沢町	城跡	平成20年5月28日	8	集合住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助06
1-2		古沢町		平成20年6月12日	4					試掘	国庫補助09
1-3	佐和山城跡	古沢町		平成20年6月16日～ 平成20年6月19日	35	個人住宅	柱穴・溝・ 土坑など	土器器 陶磁器	中世後期 ～近世	本発掘	国庫補助11
1-4		古沢町		平成20年9月9日	8	集合住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助21
1-5		古沢町		平成20年9月11日	8	集合住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助22
1-6		古沢町		平成20年9月26日	4	集合住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助24
2	丹波前城跡	鳥居町	散布地	平成21年2月16日	12	集合住宅	柱穴・溝	須恵器	平安時代	試掘	国庫補助37
3-1		金龜町	城跡	平成20年6月20日～ 平成20年6月27日	42	開闢記念館	礎石立建物	瓦など	近世	本発掘	市単費
3-2		金龜町		平成20年10月7日～ 平成20年10月17日	52	E.V設置	礎石立建物	瓦など	近世	本発掘	市単費
4-1	/	金龜町	墓園	平成20年1月4日～ 平成20年12月2日	25	墓門トイレ	改修	瓦など	近世	本発掘	市単費
4-2	名勝玄宮寺跡	金龜町		平成20年1月4日～ 平成20年12月25日	77	支宮閣	飛梁漢橋	瓦など	近世	本発掘	市単費
5	一ツヤ遺跡	平田町	散布地	平成20年12月16日	4	集合住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助32
6-1		平田町	木戸口遺跡	平成21年1月23日	4	個人住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助34
6-2		平田町		平成20年6月19日	4	個人住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助10
6-3		戸賀町		平成20年7月7日	8	店舗	なし	なし	なし	試掘	国庫補助13
6-4		戸賀町		平成20年10月24日	4	集合住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助26
7-1		小泉町	山之船跡	平成20年12月18日	16	宅地造成	なし	なし	なし	試掘	国庫補助33
7-2	山之船跡	山之船町		平成20年4月28日	12	集合住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助02
7-3		山之船町		平成20年6月24日	8	店舗	なし	なし	なし	試掘	国庫補助12
8	正法寺遺跡	正法寺町	古墳	平成20年10月2日	28	宅地造成	なし	なし	なし	試掘	国庫補助25
9	福満遺跡	西今町		平成20年11月27日	16	集合住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助29
10-1		西今町	西今遺跡	平成20年8月11日	4	集合住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助18
10-2		西今町		平成20年7月29日～ 平成20年7月30日	60	宅地造成	なし	なし	なし	試掘	国庫補助15
11-1		竹ヶ島廬寺	寺院跡	平成20年8月26日	4	個人住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助19
11-2		竹ヶ島町		平成20年10月10日～ 平成21年1月30日	72	宅地造成	柱穴・溝・ 土坑など	須恵器・土師器	古墳時代	本発掘	国庫補助08
12	通ノ下遺跡	東沼波町	散布地	平成20年11月28日	12	集合住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助30
13	丁田遺跡	高宮町	集落跡	平成20年6月16日～ 平成20年7月10日	216	河川	柱穴・溝・ 土坑など	須恵器 土師器など	平安時代	本発掘	市単費
14-1		高宮町	高宮町	平成20年5月20日	12	集合住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助06
14-2		高宮町		平成20年9月16日	16	集合住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助23
14-3	藤丸遺跡	高宮町	集落跡	平成20年11月14日	52	宅地造成	なし	なし	なし	試掘	国庫補助28
14-4		大坂町		平成20年12月2日	12	店舗	なし	なし	なし	試掘	国庫補助31
14-5		高宮町		平成21年3月11日	36	宅地造成	なし	なし	なし	試掘	国庫補助38
15	桜本遺跡	高宮町	散布地	平成20年7月17日	4	工場	なし	なし	なし	試掘	国庫補助14
16	蛭目遺跡	清崎町	散布地	平成20年8月5日	4	個人住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助17
17	安田遺跡	本庄村	散布地	平成20年4月25日	4	個人住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助01
18	經部西遺跡	福原町	散布地	平成20年5月14日	4	個人住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助04
19	南川瀬南遺跡	西葛籠町	散布地	平成20年6月9日	4	個人住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助07
20	小泉館跡	小泉町	敷地	平成20年5月9日	4	個人住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助03
21	酒藏館跡	須越町	敷地	平成20年7月22日	4	個人住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助15
22	清水城跡	瀬崎町	敷地	平成21年3月24日	4	個人住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助39
23	三ノ屋城跡	南三ヶ谷町	城跡	平成20年10月30日	4	個人住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助27
24	蘇原経跡	蘇原町	城跡	平成20年8月29日	4	個人住宅	なし	なし	なし	試掘	国庫補助20

## 報告書抄録

ふりがな	さわやまじょうあと							
書名	佐和山城跡							
副書名	個人住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査事業							
卷次								
シリーズ名	彦根市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	44							
編著者名	林 昭男							
編集機関	彦根市教育委員会 文化財部 文化財課							
所在地	〒522-0001 彦根市尾末町1番38号 TEL0749-26-5833							
発行年月日	20090331							
所 取 遺 跡	所在地	コード		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
佐和山城跡	彦根市 佐和山 町82	25202	090	35度 16分 56秒	136度 16分 42秒	35m <sup>2</sup>	20080616 ～ 20080619	個人住宅 建設
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
佐和山城跡	城館	中・近世	溝 柱穴 土坑	染付磁器・陶器・ 瓦など				

### 彦根市埋蔵文化財調査報告書第44集

## 佐和山城跡

—個人住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査事業—

平成21年（2009年）3月発行

編集・発行：彦根市教育委員会文化財課

彦根市尾末町1番38号

TEL 0749-26-5833

印刷・製本：近江印刷株式会社

愛知郡愛荘町川原771-1

## SITE OF SAWAYAMA-JYO



調査地近在の田中に残る石組み井戸

March, 2009

Hikone Educational Bureau  
Cultural Asset Division